

人口減少とまちづくりの展望 (仮題)

講演 森 裕之 氏 (立命館大学教授)

と き : 2017年10月12日(木)午後7時~午後9時

と ころ : 藤井寺市立市民総合会館分館 (土師ノ里駅前)

2014年5月8日、「日本創成会議」が「消滅可能性都市」が全国の49.8%、896市区町村になると発表。2040年人口と2010年を比較すると、千早赤阪村が45%減、河内長野市が31%減、富田林市が28%減、河南町が27%減、柏原市26%減、松原市と東大阪市が24%減など中・南河内の人口減少が顕著です。

人口減少は、小売業、飲食業、娯楽施設、医療機関などの衰退、雇用の減少、地域公共交通の破壊による高齢者を含む地域住民の移動手段の喪失、町内会や自治会の担い手不足、地域コミュニティの低下、消防団員減少による地域の防災力の低下、児童・生徒数の減少による学校の統廃合などが起こります。住民の地域活動の縮小によって、地域のにぎわいも失われて行きます。どうすれば地域を守るか、一緒に考えましょう。



主催: 中・南河内自治体学校実行委員会